

特定健診受診率が2年連続全道第1位！～和寒町国民健康保険組合～

和寒町国民健康保険の『特定健診』受診率が平成20・21年度の2年連続、全道第1位（179市町村中）となり、受診者の皆さんに感謝申し上げます。

高血圧や糖尿病といった生活習慣病の多くは自覚症状が無いまま進行し、いずれは脳血管疾患や心疾患、腎機能低下など重大な病気をおこす危険性があります。健診を受け自分の健康課題を知り、必要に応じて生活習慣の改善や早期の医療受診などの予防行動をとることは、病気の発症や重症化予防の為に重要であり、さらには医療費の削減にもつながります。

和寒町国保の健診受診率の高さは、受診者の皆さんの健康に対する意識の高さと予防行動が反映された結果であるといえます。

しかし、健診受診状況の内訳をみますと、40～50歳代の若い世代の受診率が低いこと、またどの年代においても女性に比べ男性の受診率が低い傾向があることなどの課題も多く、今後受診率の低下が懸念されます。

今後も年に1度健診を受診し、自分の体の状態や経年による変化を確認されますようお願いいたします。

和寒町国民健康保険加入者の「特定健診」受診率

	受診対象者数	受診者数	受診率	順位(道内)
平成20年度	1,118人	835人	74.7%	第1位
平成21年度	1,102人	793人	72.0%	第1位

北海道国民健康保険団体連合会報告

『特定健診』
 平成20年4月から始まった生活習慣病予防のための健診で、40歳以上75歳未満のかたを対象とし加入する医療保険ごとに受けられる健診です。

- 平成23年度の健診は本年4月以降、対象者のかたがたへ個別通知する予定です。
- 75歳以上のかた（後期高齢者医療保険加入者）にも、国保加入者と同様の健診を実施しておりますのでご利用ください。
- 40～74歳の和寒町国保以外の保険の加入者のかたは、それぞれの医療保険で同様の健診を受けられますので、詳しくはそちらにお問い合わせください。



東京わっさむふれあい会交流会に参加

1月29日（土）東京銀座日航ホテルで開催されました第12回東京わっさむふれあい交流会（会長 村井英樹さん）に和寒町から伊藤町長をはじめ12名で参加をしました。

東京わっさむふれあい会交流会は平成19年1月以来4年ぶりの開催となったことから会員の参加も45名となり総勢57名による賑やかな交流会となりました。交流会では久しぶりに顔を合わせるかたもあり、お互いの近況について報告し合っている姿が会場内で多く見受けられました。



平成27年分村百年

和寒がひとつの自治体として誕生したのは、大正4年4月1日、剣淵村（現剣淵町）から分村し「和寒村」となりました。また、昭和27年には、町制施行で「和寒町」となっています。

大正4年の分村以来、平成27年には、分村百年を迎えることから、町では、毎年この時期に懸垂幕を掲げ、「和寒村の誕生」に思いを馳せ、当時のご苦勞に感謝の意を表すこととしています。



分村祝賀会旗行列